学校法人 大阪音楽大学広報誌

Music

vol.207
2009 July
発行／学校法人 大阪音楽大学
編集／広報誌編集室
〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8
TEL／06-6334-2131 FAX／06-6334-2141
URL http://daion.ac.jp
発行日／2009年7月22日

新型インフルエンザによる休校が解除。手を消毒して授業再開に臨む学生たち（2009年5月26日、本学正門で）

2015年 楽 創立100周年

CONTENTS

独のワイマール・フランツ・リスト音大と本学で初の交換留学生 ……2
サマー・オペラ「イドメネオ」／モーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会 ……10・11

■キャリアガイダンス 中村学長特別講演　卒業生ら熱いエール …3
■8月 9月 10月　学校法人大阪音楽大学の催し ……4
■オペラハウスの催し／College　Information ……5
■「火刑台上のジャンヌ・ダルク」見どころ／教員免許状更新講習 …6
■連載「校史点描」＜8＞　「味原30年」幕開け ……7
■授業紹介 佐治晴夫講師の大学院「芸術文化の諸相」 ……8
■特別講義　声楽・白井光子氏　ピアノ・池田洋子氏　ほか ……9
■入試ナビ　9月にキャンパスツアー／音楽院のひろば ……12
■大阪・高松・広島で出張レッスン／はびきの市民講座聴講記⑤…13
■“古今東西音楽考”（その24）……14・15
■本学学生の仕事力開発・育成に「音楽の仕事情報館」設置へ……15
■田嶋直士講師 バッハ音楽祭に出演／新型インフルエンザ始末記 …16
■河口結子さん お寺でコンサート6年 ……17
■畠山歩美さんのハノイ奮戦記／コンクール入賞　ほか ……18
■幸楽会後援演奏会／大阪音楽大学後援演奏会 ……19
■大学案内できる／ミレニアム特別講座／若い芽のコンサート …20

髙崎真央さん（大2・ヴァイオリン）が交換留学生に
本学初 独のワイマール・リスト音大へ

本学が交換留学で提携しているドイツのワイマール・フランツ・リスト音楽大学に、髙崎真央さん（大2・ヴァイオリン）が留学、ワイマール・フランツ・リスト音大からマルティン・フリードリッヒ・カーゲルさん（2年・ファゴット）の本学受け入れが決まりました。期間は2人とも半年間で、本学の交換留学生は髙崎さんが初めて。

積極姿勢で学ぶと抱負

中村孝義学長から海外留学助成金の決定書を受け取る髙崎真央さん

中村孝義学長は6月11日、髙崎さんに09年度奨学制度・海外留学助成金の適用を認める決定書を手渡しました。

髙崎さんは高校1年生の時にドイツで講習を受けたことがあり、ドイツ留学は長年の夢。8月20日前後に日本を出発、オーストリアで講習を受けた後、ドイツ語集中コース受講のため9月4日までにドイツに入国の予定です。

留学期間は10月1日から3月31日まで。寮で生活しワイマール・フランツ・リスト音大でヴァイオリンを学修します。髙崎さんは「だれでも出来る経験ではないので、多くのことを吸収したいと思います。このため、受身だけではなく、こちらから積極的な姿勢で良いところを学んできたいと思っています」と話していました。

カーゲルさんは9月9日に来日予定。ホームステイし、同14日から始まる後期授業から出席し、ファゴットと尺八を学修したいとの希望を寄せています。ワイマール・フランツ・リスト音大の推薦状によると、カーゲルさんは22歳。才能豊かで意欲的、かつ規律正しく勉学に励む学生です。多才で、興味を抱いている一つは現代音楽におけるアジアとヨーロッパ文化のつながりだとしています。

本学は韓国、中国、ドイツの計4大学（校）と提携。ワイマール・フランツ・リスト音楽大学はその一つで、作曲家のリストが提唱し1872年に設立、学生約850人、教員約250人。大学と大学院があり、校舎はバロック様式の歴史的建物で、リストが住んだ家は博物館に。また、ワイマール市は世界遺産に登録されています。

奨学金の支給 32人に決定書

中村学長から奨学金の決定書を受け取る根本みずきさん＝いずれもA号館会議室ABで

大阪音楽大学の09年度奨学制度（給付奨学金）決定通知書授与が6月11日、A号館会議室で行われ、中村孝義学長が32人（大学23人、短大7人、大学院2人＝手渡しずみ）に決定書を手渡しました。

この制度は08年度からスタートしました。学業優秀で、08年度の成績によって選考された学生に奨学金として支給。大学の場合は奨学金A90万円、同B45万円、同C30万円。音楽専攻科は20万円。短大は同A85万円、同B40万円、同C25万円、短大専攻科は20万円。また、大学院は1年生が09年度から新奨学金制度に移行、入試成績または学業優秀者に50万円を支給します。

一人ひとりに決定書を渡した中村学長は「先生方、学生の諸君らが皆さんに注目していると思います。注目に負けないよう素晴らしい成果をあげてほしい。期待しています」と激励しました。

給付学生は次のみなさん。

【大学奨学金A】根本みずき（2年、ピアノ）、村井陽香（3年、同）、藤田紗織（4年、フルート）**【同B】**加茂里織（2年、ピアノ）、鷹羽萌子（同、クラリネット）、山中直（3年、音楽学）、坂本彩華（同、クラリネット）、井上亜依子（4年、ピアノ）、小川翔子（同、クラリネット）**【同C】**京谷政樹（2年、音楽学）、西田安希（同、声楽）、染川裕香（同、ピアノ）、坪井彩奈（同、フルート）、沖永紗織、清水沙紀子、林ゆかり、村上優子（以上3年、ピアノ）、大岡紋、大前裕美子（以上4年、声楽）有岡綾香、濵田絵梨（同、ピアノ）**【音楽専攻科】**水野智絵（声楽）、小山亜希（ヴァイオリン）

【短大2年奨学金A】牛尾奈津美（ジャズ･ポピュラー専攻電子オルガン）**【同B】**大山瑞紀、澤真紀（以上声楽）**【同C】**柴田穂奈美（ピアノ）、吉武千恵（クラリネット）、浦田友実（ジャズ･ポピュラー専攻電子オルガン）**【短大専攻科】**杉本友樹（電子オルガン）

【大学院】三浦槙子（ピアノ）、山下真里子（サクソフォーン）

キャリアガイダンス

卒業生らが熱いエール

大学2年生を対象にした2009年度キャリアガイダンスが6月5日、A号館301教室で行われました。中村孝義学長の特別講演の後、卒業生の兵庫県立芸術文化センターに勤める榎かおりさん（97年大卒・楽理）と兵庫県立西宮高校音楽科講師、田中郷子さん（00年大卒・声楽）が様々な体験をもとに、学生たちに熱いエールを送りました。出席した学生は140人を超え、就職に対する関心の高さが垣間見えました。

「大音生は社会にどう応えることができるか」

中村孝義学長特別講演

音楽をやりたくてこの大学にこられた皆さんは、他のどの大学の学生よりも高いモチベーションを持っておられます。学生時代に情熱をそそげるものがあるということは将来、キャリアを築いていく上でとても大事なことです。そのことをしっかりと頭の中に入れておいてください。

音大を卒業しても音楽の道に進めるとは限りません。一般企業に進む人もいます。面接のときに必ず聞かれるのが、「音大生なのにどうしてうちの会社を」ということです。「私は大音で培った様々な能力を今、この仕事に生かしたい」という明確な説明がなければ成功しないでしょう。

音大は音楽のことだけを勉強してきた、と思われていますが、実はそうではありません。音楽をやるには大変な努力とエネルギーが必要です。皆さんは音楽を通して忍耐、持続する力、集中力、創造する力、そういう力を身につけてこられました。そのことを自覚し、自信を持っていただきたい。

何かに打ち込み情熱をそそいだことのある人は、他のことにも情熱をそそぐことができます。音楽をやってきた人は音楽以外のところでも貢献できるということです。これは非常に大事なこと。皆さんはそのことを十分認識し、これからの就職活動に生かしていただきたい。

榎かおりさんからのメッセージ

兵庫県立芸術文化センターに勤めるまでは一般企業で5年間、営業の仕事をしていました。私の中では遠回りしたかもしれませんが、今は18歳のころに抱いていた音楽プロデュースの仕事に一歩近づき、とても充実しています。営業のころの厳しい経験が今の仕事に生かされていると思います。

榎かおりさん
一般企業で営業の経験をした後、01年から兵庫県立芸術文化センター事業部に勤務。

音楽業界で働くために、王道はありません。人間力を養い、自分の中に引出しをいくつも持ってください。そのためにはいろんなことを経験してください。無駄な経験は一つもありません。いつかきっと役に立ちます。

田中郷子さんからのメッセージ

学生のころは視聴覚教室にこもり、オペラのビデオやLDを貪るように聴いていました。「高い授業料を取り返すため、これは見な損や」という気持ちでしたね。卒業後は神戸大の大学院に進みましたが、今思うと、あの貪欲さが少しは役に立ったんでしょうね。

田中 郷子さん
卒業後、神戸大学大学院に進学。現在は高校教師と「エリーゼ音楽アカデミー」講師。

今は教師と歌う仕事をしていますが、「大音を出てよかったな」と思うことがあります。先輩がたくさんいて、助けられることが多いからです。皆さんが将来、どんな道を歩むにしても、あなたの周りには先輩や仲間たちがたくさんいることを忘れないでください。

座談会　夢を持てばアンテナが広がります

榎さん「大音は音楽にあふれ豊かです。学生のころは恵まれ過ぎて、心配になったりして」

中村学長「豊かであるがゆえに、豊かさの貧しさに陥りやすい。豊かな環境をどのように生かすか。もっと貪欲になってほしい」

田中さん「夢を持つことが大事ですね。努力すれば必ずそれに近づけます」

中村学長「夢を持つとアンテナが広がり、可能性が高まってきます。そのためにも人のつながりを大事にしていただきたいですね」

8月・9月・10月 学校法人大阪音楽大学の催し

8月2日(日) 10時	指導者研修　ピアノ(基礎編)① F号館215　植田定和　ほか
8月3日(月) 10時	指導者研修　ピアノ(基礎編)②(応用編)① F号館215　講師　植田定和ほか(基礎編) 浅井康子ほか(応用編)
8月4日(火) 10時	指導者研修　ピアノ(応用編)② F号館215　講師　油井美加子　ほか
8月4日(火) 10時	指導者研修　幼児音楽① C号館401ほか　講師　井本英子　清水晶子
8月5日(水) 10時	指導者研修　幼児音楽② C号館401　講師　井本英子　清水晶子　寺谷一紀
8月6日(木) 10時	指導者研修　幼児音楽③ C号館401　講師　井本英子　清水晶子
8月22日(土) 11時	高校生のためのオペラ講座① 大阪音楽大学　講師　中村敬一　荒田祐子　田中由也 矢崎真理　西尾麻貴
8月23日(日) 11時	高校生のためのオペラ講座② OH　講師　中村敬一　荒田祐子　田中由也　矢崎真理 西尾麻貴
9月12日(土) 10時	「ガムラン・ワークショップ」 音楽博物館　講師　小林江美
9月12日(土) 14時	ミレニアムホール特別講座「"恋人の楽器"フルートをヒロインに」 MH　講師　日下部吉彦　フルート　長山慶子 ハープ　三浦由美子
9月12日(土) 15時15分	指導者研修　指揮法(基礎編)① O201　講師　加藤完二
9月12日(土) 18時	Daionコンサート　夕映えの海とともに ATC南港サンセットホール　出演　南奈緒　福嶋勲　神永強正
9月19日(土) 15時15分	指導者研修　指揮法(基礎編)② O201　講師　加藤完二
9月26日(土) 14時	卒業生による「若い芽のコンサート〜4組が彩るフランス色〜」 MH　出演　辻合佑璃　小寺智絵　田久保友妃　井上千瑞 古川真也　村井稚麻　有居恵
9月26日(土) 15時	指導者研修　打楽器① K号館212　講師　北野徹
9月26日(土) 15時15分	指導者研修　指揮法(基礎編)③ O号館201　講師　加藤完二
9月29日(火) 17時	第4回ミレニアムピアノコンサート MH　出演　木村直美　冨樫三起子　小川裕子
10月1日(木) 10時	西岡信雄コレクション特別展「フィールドワークの足跡」(12月28日まで) 音楽博物館　内容　約40カ国で収集された楽器等3000点余を展示
10月3日(土) 15時15分	指導者研修　指揮法(基礎編)④ O号館201　講師　加藤完二
10月3日(土) 15時	指導者研修　打楽器② K号館212　講師　北野徹
10月10日(土) 15時	指導者研修　打楽器③ K号館212　講師　北野徹
10月10日(土) 15時15分	指導者研修　指揮法(中級編)① O号館201　講師　加藤完二
10月10日(土) 17時	Daionコンサート　夕映えの海とともに ATC南港サンセットホール　出演者未定
10月12日(月・祝) 11時15分	オープンキャンパス 大阪音楽大学
10月13日(火) 17時	第5回ミレニアムピアノコンサート MH　出演　小杉裕一　芹澤佳司
10月16日(金) 14時	大阪音楽大学公開講座「音楽の宝石箱」① 高槻市立生涯学習センター　講師　呉信一
10月17日(土) 15時	指導者研修　打楽器④ K号館212　講師　北野徹
10月17日(土) 15時15分	指導者研修　指揮法(中級編)② O号館201　講師　加藤完二
10月20日(火) 18時	第23回ミレニアム・スチューデント・コンサート　第一夜 MH　出演　選抜学生
10月21日(水) 18時	第23回ミレニアム・スチューデント・コンサート　第二夜 MH　出演　選抜学生
10月22日(木) 18時	第23回ミレニアム・スチューデント・コンサート　第三夜 MH　出演　選抜学生(都合により中止になる場合があります)
10月23日(金) 18時30分	畑中良輔特別講座⑦ MH　講師　畑中良輔
10月24日(土) 14時	西岡信雄コレクション特別展記念講演「楽器からのメッセージ」 音楽博物館　講師　西岡信雄
10月24日(土) 15時	指導者研修　打楽器⑤ K号館212　講師　北野徹
10月24日(土) 15時15分	指導者研修　指揮法(中級編)③ O号館201　講師　加藤完二
10月27日(火) 18時30分	オペラ物知り講座③「この人でこのオペラ!〜晴雅彦さんの場合〜」 MH　講師　中村敬一　バリトン　晴雅彦　テノール　小餅谷哲男
10月29日(木) 19時	2008年度　大阪音楽大学音楽学部最優秀賞受賞者演奏会 第6回ザ・ローレル・コンサート いずみホール　出演　原田恵美　三浦槙子　中侑子
10月29日(木) 19時	大阪音楽大学開放講座「音楽・心の旅23」① 豊中市立中央公民館　講師　藤井敬吾
10月30日(金) 14時	大阪音楽大学公開講座「音楽の宝石箱」② 高槻市立生涯学習センター　講師　松田淳一
10月31日(土) 14時	20世紀オペラ　プレトーク「火刑台上のジャンヌ・ダルク」の見どころ OHロビー　お話　チャン・ユンスン　岩田達宗　髙橋浩子
10月31日(土) 15時	指導者研修　打楽器⑥ K号館212　講師　北野徹
10月31日(土) 15時15分	指導者研修　指揮法(中級編)④ O号館201　講師　加藤完二

OH／オペラハウス　MH／ミレニアムホール

コンサート・センターからお知らせ

■大阪音楽大学コンサート・センターでは、演奏会開催日は開演時刻まで窓口取り扱い時間を延長し、他公演の入場券の販売、発券を行います。これに伴い、演奏会場内での入場券の販売、発券はいたしません。コンサート・センター窓口でお求めください。

■本年度から本学学生出演の演奏会が一部有料になります。各演奏会の詳細とともにご案内いたします。

■電話、Fax、はがき、大学ホームページ等で入場券をお申し込みになり、郵送で受け取りご希望の場合、代金の振込手数料、送料はお客様のご負担となります。また、本学主催演奏会の「ご案内チラシ」のみ郵送ご希望の方も送料をご負担いただきます。詳しくは電話でお問い合わせください。

［大阪音楽大学コンサート・センター］〒561-8555　豊中市庄内幸町1-1-8
☎06-6334-2242　Fax06-6334-2164

2008年度 大阪音楽大学音楽学部最優秀賞受賞者演奏会
第6回 ザ・ローレル・コンサート

10月29日(木)19時　いずみホール　入場料 1000円

原田恵美（クラリネット）
G.ヴェルディ(L.バッシ編曲):リゴレットによる演奏会用幻想曲
R.シューマン:幻想小曲集　作品73　ほか
ピアノ／中村理愛

三浦槙子（ピアノ）
C.フランク:前奏曲、コラールとフーガ　ほか

中　侑子（ソプラノ）
G.プッチーニ:歌劇「蝶々夫人」より　ある晴れた日に
A.カタラーニ:歌劇「ワリー」より
それならば、私は遠くへ行きましょう　ほか
ピアノ／下村沙織

ザ・カレッジ・オペラハウスの催し

開館20周年記念公演

第44回オペラ公演　20世紀オペラ・シリーズ

A.オネゲル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」

（原語/フランス語・一部訳詞上演・字幕付）

11月6日（金）19時　11月8日（日）14時　指定席

一般7000円　シルバー6000円　高校生以下3000円

指揮　チャン・ユンスン　**演出**　岩田達宗

制作担当　髙橋浩子　**制作統括**　本田耕一

ジャンヌ・ダルク　石橋栄実　**修道士ドミニク**　川下登

マルグリート　田邉織恵　**カトリーヌ**　荒田祐子

聖処女　中西麻貴　ほか

合　唱　ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団

管弦楽　ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

オンド・マルトノ演奏　久保智美

オペラ・プレトーク開催

「火刑台上のジャンヌ・ダルク」の見どころ 聴きどころ

10月31日（土）14時　ザ・カレッジ・オペラハウス1Fロビー　入場無料

お話　チャン・ユンスン　岩田達宗　髙橋浩子

第6回 大阪音楽大学 サテライト・マスタークラス 受講者募集

◆合唱指揮者コース　会場　大阪音楽大学

第1期　09年9月5日、10月10日、11月14、28日、12月19日

いずれも土曜日 10時～13時 受講料 30,000円

講師　本山秀毅　高嶋昌二

第2期　10年1月23、30日、2月6、13、28日

いずれも土曜日 10時～13時 2月28日のみ日曜日 10時～16時 受講料 30,000円

講師　里井宏次　延原武春　木下牧子

◆吹奏楽指導者コース　会場 ヤマハ心斎橋店／大阪音楽大学

第1期　09年9月24日、10月8、22日、11月5、12日、12月10日

いずれも木曜日　19時～21時　受講料35,000円

講師　丸谷明夫　北野徹　高昌帥　保科洋　屋比久勲

第2期　10年1月21日、2月4、18、25日、3月4、11日

いずれも木曜日　19時～21時　受講料35,000円

講師　丸谷明夫　吉田秀高　福富陽治　須藤卓眞　保科洋

<申し込み・問い合わせ>大阪音楽大学エクステンション・センター

☎06-6334-2249　FAX06-6334-2542

College Information

高校生のためのオペラ講座 受講者募集

一流の演出家、オペラ歌手があなたを指導します
オペラハウスの舞台で歌ってみませんか

講師　声楽指導兼言語指導　荒田祐子　田中由也
演出　中村敬一
コレペティートル　矢崎真理　西尾麻貴

日程　8月22日（土）11時～15時　8月23日（日）11時～17時

会場　大阪音楽大学　　**受講料**　10,000円

〈申し込み・問い合わせ〉大阪音楽大学エクステンション・センター

☎06-6334-2251　FAX06-6334-2542

2010年度　演奏員募集

大阪音楽大学では本学卒業生を対象に、2010年度の演奏員を募集します。募集ジャンルは声楽・ピアノ・管弦打・ジャズ・ポピュラー・ミュージカルです。詳細は本学ホームページをご覧ください。電話でのお問い合わせはエクステンション・センターへ。

☎06-6334-2249

応募締切　2009年10月20日（火）

大阪音楽大学卒業生による

『若い芽のコンサート2010』出演者募集

募集対象:大阪音楽大学または大阪音楽大学短期大学部を卒業し10年以内の人

募集人数:〈1演奏会につき〉2～4人（組）

公演内容:①ソロ形式の演奏　②アンサンブル形式の演奏

ジャンル:クラシックおよびジャズ・ポピュラー

公演日程:2010年度6回予定

応募締切:2010年2月26日（金）必着　＊今回より、本番で演奏する曲目と同一曲目の音源を提出していただくことになりました。

〈申し込み・問い合わせ〉〒561-8555　豊中市庄内幸町1-1-8

大阪音楽大学エクステンション・センター　若い芽のコンサート係

☎06-6334-2249　e-mail:extension1@daion.ac.jp

卒業生による若い芽のコンサート vol.17

Quatre couleurs ～4組が彩るフランス色～

9月26日（土）14時　ミレニアムホール　入場料500円

出演　フルート　辻合佑璃　ピアノ　小寺智絵
ヴァイオリン　田久保友妃　ピアノ　井上千瑞
サクソフォーン　古川真也　ピアノ　村井稚麻
ピアノ　有居 恵

2009年度 ミレニアムピアノコンサート ～ピアノ教員による演奏会～

第4回　9月29日（火）17時　ミレニアムホール　入場無料

木村直美

冨樫三起子

小川裕子

木村直美　S.プロコフィエフ:ピアノ・ソナタ 第6番　イ長調　作品82

冨樫三起子　F.ショパン:ポロネーズ 第7番 変イ長調 作品61「幻想ポロネーズ」ほか

小川裕子　E.グリーグ:ピアノ・ソナタ　ホ短調　作品7

第5回　10月13日（火）17時　ミレニアムホール　入場無料

小杉裕一

芹澤佳司

小杉裕一　F.ショパン:舟歌　嬰ヘ長調　作品60　スケルツォ　第3番　嬰ハ短調　作品39 他

芹澤佳司 F.シューベルト:ピアノ・ソナタ　第20番　イ長調　D.959

第36回 ミレニアムホール特別講座

『"恋人の楽器"フルートをヒロインに』

9月12日（土）　14時～16時　ミレニアムホール

講師　日下部 吉彦

演奏　**フルート**　長山慶子　**ハープ**　三浦由美子

受講料　**1回1,000円**　＊事前の申し込みが必要です。

第3回 オペラ物知り講座

この人でこのオペラ!「晴雅彦さんの場合」

10月27日（火）18時30分～20時30分　ミレニアムホール

講師　中村敬一　**演奏**　バリトン 晴雅彦 テノール 小餅谷哲男

受講料　**1000円**　＊事前の申し込みが必要です。

〈申し込み・問い合わせ〉大阪音楽大学エクステンション・センター

☎06-6334-2251　FAX06-6334-2542

畑中良輔特別講座

日本歌曲　100年の歩みを辿って

第7回　10月23日（金）18時30分

「新声会（そのⅡ）」石桁眞礼生　別宮貞雄　畑中良輔

講師　畑中良輔　**演奏**　掛戸有美　青木耕平　岩佐明子

受講料　**2000円（学生1000円）**　＊事前の申し込みが必要です。

〈申し込み・問い合わせ〉大阪音楽大学エクステンション・センター

☎06-6334-2249　FAX06-6334-2542

熱がこもる立ちげいこ

見どころ

20世紀オペラ・シリーズ
オネゲル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」

冴える作曲技法

11月6日・8日
ザ・カレッジ・オペラハウス

ジャンヌ・ダルクは今、処刑されようとしている。イギリスとフランス、それにブルゴーニュ公国が絡んだ百年戦争で、疲弊し切ったフランスに勇気をもたらし、勝利への足がかりを作ったジャンヌ。シャルル7世のランスにおける戴冠を実現させたジャンヌ。その彼女がなぜ火刑という過酷な刑を受けなければならなかったのか。

オペラは、捏造された記録文書を携えて天から降りてきた修道士ドミニクと、火刑台上のジャンヌとの対話を中心に進められてゆく。なぜ私がこんな目に?と問うジャンヌにドミニクは持ってきた文書を読んでやる。野獣レベルの裁判官による不当な裁判、ソルボンヌの教授たちによる偏狭な智恵、王たちの政治抗争。過去と現在がフラッシュバックするように展開していく中で、聖処女の声に導かれたジャンヌは炎に包まれつつ昇天していく。

20世紀フランスの状況をも見据えたクローデルの台本に、オネゲルの多彩な作曲技法が冴える傑作を、ぜひお見逃しなく!

(制作担当　名誉教授　**髙橋浩子**)

10年度サマー・オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」オーディション

出演するソリストのオーディションを行います。
公演日：2010年7月2日(金)・4日(日)
指揮：大勝秀也　演出:粟國淳
オーディション日程：2009年9月13日(日)
応募資格:本学卒業生、本学関係者。詳細は応募要項をご覧下さい。ホームページからダウンロードしていただくか、ザ・カレッジ・オペラハウスまたはコンサート・センターでお渡しいたします。郵送可。80円(定型)／120円(定形外)切手を貼り、住所・氏名を記入した封筒をオペラハウスにお送りください。
問い合わせ、送り先：ザ・カレッジ・オペラハウス
〒561-8555豊中市庄内幸町1-1-8
TEL:06-6334-2824(コンサート・センター内)FAX:06-6334-2164
受付時間　9時～17時(平日)、9時～15時(土曜)
なお、8月は休館日もありますので、ご注意ください。
URL：http://daion.ac.jp

教員免許状の更新講習
まず選択の指揮法学ぶ

大阪音楽大学の教員免許状更新講習が6月6日から始まりました。受講決定者数は112人で、うち本学の大学卒業35人、短大卒業11人。開講する講習は必修・教育の最新事情(12時間)、選択・指揮法の基礎と実践(6時間)、同・日本伝統音楽(12時間)、同・合唱指導法(6時間)、同・リコーダー指導法(12時間)。これらは8月4日までの間に開講されます。

6月6日にスタートしたのは指揮法の基礎と実践。加藤完二講師の指導で、見やすい指揮、見にくい指揮など基本的運動について学びました。同13日は音楽の伝え方を学び、オースチンの「人形の夢と目覚め」(ピアノと弦楽四重奏)で修了認定試験。受講者全員が指揮し、評価を受けました。

教員免許状更新制は09年4月から施行されました。教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけてもらうのが目的です。4月1日以降に授与される教員免許状は有効期間10年。それ以前の免許状取得者も35歳、45歳、55歳を区切りとし、それぞれ期限までの2年間に講習を受けることを義務づけられています。

教育の最新事情を学ぶ必修領域12時間以上、教科や生徒指導に役立つ選択領域18時間以上の講習後、試験などを経て修了認定を受けます。本学更新講習の特徴は、必修領域の講習が全国的に不足することが明らかになっている中で、「教育の最新事情」を開設したこと。もう一つはこれまでも各種の「指導者研修」を開設。伝統と定評のある講座群を更新講習として設定したことなどです。

校史点描〈8〉

創立百周年に向けて

永井の理想を定礎文に

大阪音楽学校は1926年（大正15年）3月末、大阪市東区味原町99（現・天王寺区味原本町8）の味原池跡に建てた新校舎へ移転。4月1日、校長の永井幸次は式辞の最後を「余、生來淺學菲才ナレドモ新興ノ重責ヲ負ヒ鞠躬如トシテ經營ノ任ニ當リ益々本校の隆昌進展ヲ期シ必ズヤ今日ノ御同情ヲ寄セラレシ諸彦ノ御鴻恩ノ萬一ニ酬ユルコトノアルベキヲ期ス」と締め括り、「味原30年」の第一歩を踏み出しました。（文中敬称略）

永井は23年（大正12年）ごろ、校地を手当てし、2年後の25年、親友の「アカシア」楽器店経営者で弁護士の飯国重之助、声楽科講師の水野康彦と協議し、校舎の建築を決定。知人、縁者、実業人ら37人の株主を募り、50円株を120株発行し資本金6万円の「大阪音楽建物会社」を設立。第1回の払込金1万5千円も決済し、9月から工事に着手しました。

3カ月後の12月23日に定礎式を挙行。同18日付で書かれた定礎文は永井の遠大な理想であり、今後歩むべき道の指標ともいえるもので、末尾の部分は本学の「建学の精神」になっています。

「今後ノ發展ハ財團法人トシテ愈々本校ノ面目ヲ一新シ益々程度ヲ高メ堅實ナル發達ノ基礎ヲ基カザルベカラズ　日々工事ノ進捗スルヲ見益々將来ノ隆盛發展ヲ祈ル念深キヲ加フルヲ覺エ　今之建築家屋ノ定礎ヲ築クニ當リ余ガ初念ヨリ之ノ大阪音樂學校ヲ建築セシ顛末並ニ之ノ校舎建築ニ就テ熱誠ナル同情者ノアリシコトヲ記シ併セテ永遠之ノ學校ガ大大阪否ナ關西音樂ノ中心トナルベキ發達ヲ遂ゲ終ニ世界音樂並ニ音樂ニ關連セル諸般ノ藝術ハ之ノ學校ニヨッテ統一サレ新音樂新歌劇ノ發生地タランコトヲ祈願スルモノナリ」

「味原30年」幕開け

末尾は本学建学の精神

㊤は味原池跡に建てられた新校舎 ㊦はその講堂で

26年3月、大阪府立高津中学校（現高津高校）の南隣に完成した校舎は鉄筋地下1階、地上3階建て。1階は校長室と教員室、生徒控え室で、宿直室は寄宿舎に代用。2階はピアノ、オルガン、ヴァイオリン、マンドリンの各練習室と学科教室。3階は講堂と練習室。地下は下駄置き場、倉庫など。

新学期前の3月16日、大阪府に学則変更の申請書を提出しました。変更は夜間授業を昼間授業に、隔日登校を連日登校に。そして、2学期制を3学期制にするというもので、同29日に認可されました。

学則変更によると、コース（修業年限と入学資格）と定員は、予科（1年、中等学校2年修了）40人▽本科（3年、予科または中等学校3年修了）20人▽甲種師範科（2年、乙種師範科または本科卒業）20人▽乙種師範科（1年、予科または高等小学校卒業）20人▽研究科（定めず、本科または甲種師範科卒業）定めず▽選科（2年、小学校卒業）60人。授業料は月5円、楽器使用料3円50銭でした。

連日登校とはいえ、依然、共学が認められず、女子生徒は午前8時から正午、男子生徒は午後1時から5時という変則授業で対処。混声合唱の練習時には女生徒の下校時間を1時間延ばし、男子生徒は1時間早く登校して行いました。

永井幸次が同2月23日付でしたためた式辞には「僅カニ壱百坪（正確には百坪二勺＝約330平方メートル）ノ面積ニ過ギザレドモ三年以前ヨリ六ケ年賦ニテ坪金壱百弐拾五圓総額壱万弐千五百圓ニテ購入契約ヲナシ爾来毎年一、七月の二期ニ金壱千余圓ヲ払込ミテ現在ニ至レリ」とあることから23年ごろに、校地の購入契約し、代金を12回に分けて支払いました。

校舎は大阪音楽建物会社から月250円（後150円に減額）で借りたものですが、「新音楽、新歌劇ノ発生地タラン」云々の部分は式辞にはなく、定礎文に込めた永井の決意と願望は、今も本学の理想であり指標になっています。

授業紹介 大学院「芸術文化の諸相」

宇宙物理学者、佐治晴夫講師の大学院「芸術文化の諸相」は５月29日に「芸術の中に見え隠れする数理的構造」、６月12日に「『ゆらぎ』『フラクタル構造から見た音楽』、同26日に「言葉より先に音楽があった。『音楽は、言葉が絶えたとき、はじめて語り始める言葉である（リルケ）』の意味と言葉のパラドックスをめぐっての論考」について講義がありました。今号ではこの３回を紹介しましたが、各回の授業内容と抄録の内容が必ずしも一致していません。というのは、記事は紙幅の関係で講義の一部をピックアップし、編集したためです。了承ください。

佐治晴夫講師（鈴鹿短期大学学長）

5月29日の第3回

宇宙の研究は自分探しの旅

「自然は芸術を模倣する」。英国の作家、オスカー・ワイルドの言葉です。自然を認識するのは脳で、客観的な実在はこの世の中にないということでしょう。例えば、信号機の赤。「私と皆さんが見た赤は同じ赤だったかどうかは、証明のしようがありません。人の脳はサンプルの赤を見たいように見て、『その赤で止まる』という共通認識を持つのです。つまり、世の中には実在は存在せず、関係性だけで、認識されているわけです」

ところで、自分とは何か。「鏡に映る自分の顔は左右逆で虚像。自分探しは、自分のまわりを知ることによって推測するしかありません。それが宇宙の研究です」

なぜ、自分探しをするのか。「人間だけが考えることができる生き物で、考える能力とは未来予測できることです。自分は必ず死ぬ存在であることを知っているのが唯一、人間です。しかし、死にたくないと思うのが、生き物の特長で、そこから宗教や芸術が生まれました」。「人間は自然の分身ですから、ミクロコスモスとしての人間の中には、マクロコスモスである宇宙の数理的性質が投影されており、それを知ることから、芸術の本質を見ることもできるでしょう。宇宙と芸術は互いに近い存在です」

6月12日の第4回

共食・共育・共感は人間だけ

哺乳類４２００種のうち、霊長類は３００種。約７００万年前、人間は４足歩行から２足歩行を始め、背骨の上にのった脳は大きくなり、考える能力を手に入れました。が、女性の骨盤が狭くなり未熟のまま出産するハンディーを背負いました。そこから、ご飯を分け合い（共食）、共に育て（共育）、相手の気持ちを察する（共感）能力を身につけながら共同生活が始まりました。大きな脳の獲得は、考える道具としての言葉を生みだしました。その言葉には二つの働きがあり、一つは情報を伝え、もう一つは心を伝えることです。

最近のゴリラの研究から、心を伝える原初的言語は、聴覚に訴える音だということがわかってきました。それは、耳が悪く夜には活動できなかった恐竜の陰で、聴覚を発達させながら生き延びてきたという哺乳類の進化とも関わりがあるようです。そして、文章表現のための単語の並び方には規則があるように、音の強弱、高低、リズムにも規則があり、それらは、自然現象の中に見られるパターンと似ていることが最近わかってきました。これが「ゆらぎ」です。つまり、音階の構造や和声の進行の文法に、自然界の数学的性質が反映しているということですね。

6月26日の第5回

音楽をつくっていった恐竜

ドイツの哲学者、M・ピカートは「沈黙の中にこそ饒舌な語りがある」と。つまり、沈黙とは何も考えていないということではなく、頭の中ではいろいろな言葉が渦巻いているということ。「音が出ている、出ていないという物理的な差異は、人間の感覚からすれば、同一事象の裏と表の関係です」

では、音とは何か。「物体の周期的な振動が回りの空気を揺らがせ、伝播して鼓膜を振動させる。それが神経を経由して脳に届き、音として感じる。人間の五感の中で、一番基本的、原始的な感覚です」

「というのも、前回、お話ししたように、今から遡ること６５００万年前、耳が悪く夜間活動できなかった恐竜の陰で、聴覚を頼りに進化してきた人類の歴史があります。極論すれば、〝恐竜が音楽をつくっていった〟ともいえます」

「考えてみれば、鼓膜の振動は単純な物理的現象ですから、聴覚の性質と自然界の性質には、深い関係がある。たとえば、原子を構成する電子のエネルギー順位の数学的性質と、音の倍音列は、まったく同じです。そこから和声の自然な進行の法則や、音階の構造などが数学的に導き出されます。つまり、言葉の前に存在した自然言語こそが音だったということです」

5月15日　ミレニアムホール

声　　楽

白井　光子氏
〈メゾ・ソプラノ〉

うそはつかぬ詩　勉強しよう

国際的リート歌手として活躍するメゾ・ソプラノの白井光子氏が5月15日、ミレニアムホールで特別講義しました。受講したのは辻村明香（大専）、藤川晃史（院1）、大島知子（院2）、阪西潤美（院1）の4人。

白井氏はピアニストのH・ヘル氏と組み、世界各地で「リートデュオ」として精力的に活動。08年には紫綬褒章を受章しています。

モーツァルトの「Warnung」を歌った辻村さんに「もう少し元気よく」とアドバイス。C・レーヴェの「Tom der Reimer」で受講した藤川さんには「（伴奏者の）音を耳ではなく、心で聴いてください。また、詩には本当のことが書いてあり、うそはつかないのでよく勉強してください」と話しました。

長谷真奈美さん（大3）はデラヌーの「演奏会用小品」を演奏。「リラックスして息を取り込み、リラックスして息を吐き出してください。空気はただです。もっといっぱい使いましょう」

P・スパークの「幻想曲」を演奏した今岡鉄也さん（大3）には「テンポの選択、アレグロも素晴らしかった。欲をいえば、これはスパークの音楽。ビブラートを上手に使ってください」。

ミードさんはア・カペラで4曲を演奏。聴講生たちは「ミスター・ユーフォニウム」の音に酔いしれていました。

6月2日　ミレニアムホール

ユーフォニウム

スティーヴン・ミード氏
Steven Mead

もっと息を　空気はタダです

スティーヴン・ミード氏は世界で一番CDを出している英国出身のスーパー・ユーフォニウム奏者。講義は公開レッスンで、4人の学生がクリニックを受けました。

特別講義

6月2日　K号館　第一サロン

音楽プロデューサー講座
＆リズム・クリニック

村上“ポンタ”秀一氏

楽器に操られちゃだめ操れ

セッション・ドラマー、サウンド・プロデューサーとして今をときめくミュージシャンらと共演し、新たな音楽に挑戦する破格のアーティスト、村上”ポンタ“秀一氏を迎え、特別講義が行われました。

「楽器に操られちゃだめ。操るのは自分」「教わってうまくなるものじゃない。”体感“が第一」「楽曲の資料を死ぬほど自分の体に入れたら、今度はゼロにして自分のスタイルでやる」。前半は学生の質問に答える形で、アーティストとしてのポリシーを述べました。

後半はドラム・クリニック。卒業生二人の演奏に対し、「まず打点を見ること。ゴースト・ノートを大事に、ブレスをもっと意識すると空間ができ、音符が立つようになる」などとアドバイスしました。

6月6日
F号館112教室

ピアノ

池田　洋子氏

いろいろ弾き色合い探そう

パリ・エコール・ノルマル音楽院で日本人初の演奏家資格を取得し、マリア・カナルス国際コンクールで2位を受賞。ピアニストの池田洋子氏（6月25日付で本学客員教授）が、6月3日から29日まで8日間にわたり、ピアノ専攻生20人に公開レッスンを行いました。

ショパンの「幻想曲　作品49」を弾いたピアノ演奏家特別コースの桑沢美南さん（大2）は、「序奏のマーチは低音部と和声部の2つの要素があり、低音部は休符で気持ちが途切れないよう全体を一つに。和声はどんな響きがここで一番いいか。ソプラノ、バスの関係は、といろいろ弾いて自分だけの色合いを探しましょう。ショパンのffは音量より広がりと開放感のある音を」などと指導を受けました。

ザ・カレッジ・オペラハウス 開館20周年記念

人間の愛憎劇を描いたモーツァルトのオペラ・セリア「イドメネオ」（全3幕）が7月10、12日、ザ・カレッジ・オペラハウスで上演されました。オペラハウスの人気シリーズ・サマーオペラではこれまでモーツァルトの四大オペラを上演してきましたが、今年は彼が24歳のときに書いた「イドメネオ」に初めて挑戦。開館20周年を迎えたオペラハウスにとっても新たな一歩となりました。

ENEO（イドメネオ）

演　　出　岩田　達宗
ペラハウス合唱団
ペラハウス管弦楽団
制作統括　本田　耕一

新たな一歩

るドイツでのキャリアが買われ、オペズ4作品を手掛けている岩田達宗

演出・岩田達宗氏「イドメネオ」のおかげで、これまで解けずにいた宿題が一つ解けた気がします。オペラハウスにとっても私にとっても意義のある作品でした。

43人が受講

プロの声楽家たちが直接指導する「社会人のためのオペラ講座」。今年はアリアコース24人、アンサンブルコースに19人が受講し、6月4日の最終日にはザ・カレッジ・オペラハウスの舞台に立ち、レッスンの成果を披露しました。

講座は5月7日から6月2日までに計4回開かれました。曲目はアリアコースが「ジャンニ・スキッキ」の「お父さまにお願い」など、アンサンブルは「カルメン」の「手紙の二重唱」など。声楽の

カラフルな衣装

第17回Masters' Concert

「第17回Masters' Concert」が7月2日、ザ・カレッジ・オペラハウスで開かれ、オーディションで選ばれた大学院2年生3人が、小田野宏之特任教授の指揮で、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団と共演。今年はショパンのピアノ協奏曲を2人が別の版で勉強するなど、院生の研究心と個性が光る演奏を披露しました。

F.ショパンの「ピアノ協奏曲　第1番　ホ短調　作品11」をヘンレ版（ドイツ）で演奏した**辻未帆さん**。「ゆったりした時間のなかで、ドラマが繊細に紡がれる第2楽章が特に好きです。課題はありますが、精一杯の演奏ができました」

3人が個性光る演奏

W.A.モーツァルトのモテット「踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ」K.165（158a）を歌った**大島知子さん**。「“モーツァルト銀河”の星をひとつ、私の音で表現しました。リハーサルで自分では気付かない点を指摘され、勉強になりました」

F.ショパンの「ピアノ協奏曲　第1番　ホ短調　作品11」をエキエル版（ポーランド）で演奏した**楽田真希さん**。「ショパンのコンチェルトを弾くのが夢だったので幸せでした。ショパンといえばポーランド。エキエル版は、一番ショパンに近いと思って選びました」

6月11日　ザ・カレッジ・オペラハウス

左から横田知子さん　西本由香さん　木村直美さん

「モーツァルトピアノ協奏曲」全曲演奏会

演奏会を終えて

05年から4年半にわたり続けてきました「モーツァルトピアノ協奏曲」全曲演奏会も6月11日の今回が最後となりました。この企画はピアノの先生方の演奏を通し学生の皆さんに、より身近にモーツァルトの音楽に触れて頂きたいとの思いからスタートしました。

協奏曲が急速に発達する時期に生まれ、その形を完成させたといわれているモーツァルトが協奏曲の中で最も力を入れて作曲したのは、ピアノ協奏曲です。モーツァルトは、書簡の中で次のように述べています。「ピアノ協奏曲とは、難しすぎず、やさしすぎず、その中間をいくもので、音楽通を満足させるばかりではなく、一般の人々をも理由もなく満足させるものでなくてはいけません」

岸本雅美さん

岡原慎也さん

4年半かけ全27曲

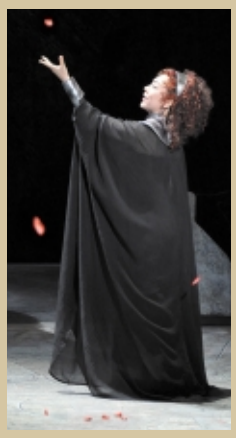
全27曲の中には名曲がたくさんありますが、日頃あまり演奏されない作品も含まれています。しかし、どの作品も一音たりとも無駄がなく、モーツァルトの精神がいきわたっているといえるでしょう。この演奏会に足を運んでくださった皆様方の心に、少しでもモーツァルトの素晴らしい音楽の響きが残っていることを願っています。また、ご協力いただきました指揮者の小田野宏之特任教授とザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、関係者の皆様にお礼を申し上げます。（制作統括　教授　**川上孝子**）

サマーオペラ モーツァルト・シリーズ

「イドメネオ」は32曲のうち重唱がたったの3曲。残りはアリアと合唱で占め、音楽的にも難度が高く、スケールの大きな作品とされてきました。中堅・若手実力派で固めたソリストたちは、苦悩、嫉妬、悲しみといった心の動きをものの見事に歌い上げました。また、50人を超える大合唱団も圧巻でした。これには10人の学生が客演として加わり、陰コーラスで舞台を盛り上げてくれました。

IDOM

指　揮　児玉　宏
合　唱　ザ・カレッジ・オ
管弦楽　ザ・カレッジ・オ
制作担当　草野　道広



21周年へ

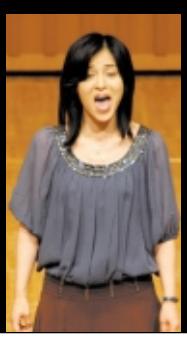
指揮は児玉宏氏。30年を超え
ラハウスに初登場。演出はシリー
氏が担当しました。

指揮・児玉宏氏　いいホール
じゃないですか。演奏は1回目と
2回目は当然違うわけですが、我々
は最善のものをつくりました。結
果は聴衆に委ねます。

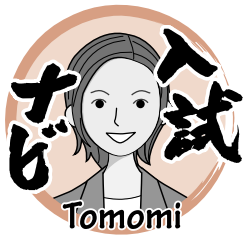
社会人オペラ

安藝槃子講師、福島慶子講師、演出の中村敬一講師らが発語の仕方、演技の指導などに当たってきました。

最終日のオペラハウスでは、加藤完二講師が指揮、友田久美さん（院2）ら4人が助演を務めました。カラフルな衣装を身につけた皆さん、プリマ、プリモの醍醐味を存分に味わっていました。



プリマの醍醐味



こんにちは、受験アドバイザーのともみです。5月下旬に小・中・高校で新型インフルエンザによる休校措置が実施され、学校行事の変更を余儀なくされました。そのため夏休みの開始が遅くなって、7～8月に集中している各大学のオープンキャンパスに参加できなくなった人もいるでしょう。

9月5／19日キャンパスツアー

そこで、本学では土曜日に施設を中心に見学していただく「ウィークエンド・キャンパスツアー」を実施しています。8月はありませんが、9月は5日と19日に実施します。学生が案内しますので、この機会にいろいろお話してみてください。ツアーの内容や見学する施設の概要をホームページに紹介しています。お申し込みもホームページから受け付けています。みなさま、ぜひお越しください。

10月12日オープンキャンパス

10月12日(月)に今年度2回目のオープンキャンパスを開催します。当日は体育の日ですが平常授業を行っています。学生と一緒に授業を受けて、キャンパスライフを体験してみましょう。本学の授業チャイムはちょっとステキですよ。ぜひ注意して聞いてください。

オペラハウスでは卒業生による雅楽の演奏をお楽しみください。笙や篳篥(ひちりき)など、普段あまり聴くことのない楽器による新しい試みです。どのような舞台が繰り広げられるでしょうか。どうぞお楽しみに。

その他、施設見学や個別相談を行います。奮ってご参加ください。詳細はホームページ、進学ガイドブックをご覧ください。

短大進学実技適性テスト

10年度大阪音楽大学短期大学部公募推薦入学試験における「専門実技認定制度(専門実技免除)」に基づき短大進学実技適性テストを実施します。

実施日　9月13日(日)

申込期間　8月24日(月)～8月27日(木)郵送必着
8月28日(金)9時～15時　窓口持参のみ

受験資格　高校3年生以上、高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者(社会人を含む)

夏の音楽院コンサート
ーJazz&Vocalー
8月29日(土)15時30分開演
ミレニアムホール
入場無料(要整理券)

毎年好評で早期発券終了となる「夏の音楽院コンサート」。講座を担当する講師陣が出演=**写真**=し、その魅力を皆さんに伝えています。

今年の出演予定は以下のとおり。
◆大塚善章(大塚善章ジャズピアノ講座Ⅰ・Ⅱ)◆小餅谷哲男(声楽入門Ⅰ・Ⅱ)◆田中勉(カンツォーネを歌おうⅠ・Ⅱ)◆松澤須美(魅惑のシャンソン)◆松田昌恵(日本の心を歌う)◆森宏(森宏ジャズピアノ講座)

9月の特別講座
9月5日(土)15時30分～17時
音楽を楽しむための音楽史
受講料:2,000円
(会員、本学学生は1,000円)

学長の中村孝義教授(音楽学)による特別講演を実施します。

実はこどもの頃は音楽があまり好きではなかったという中村学長。それがどうして音楽が好きでたまらない人間になったのでしょう。その体験にも触れながら、これさえ知っていればクラシックが楽しくなる音楽史のエッセンスを1時間半にぎゅっと濃縮。これであなたもクラシック通に!!

音楽院のひろば

9月26日(土)11時～12時30分
あの楽器に触れてみよう!
第1回ーパイプオルガン編ー
講師:朴　秀美
受講料:2,000円
(会員、本学学生は1,000円)
好評につき追加開講を決定!

世の中には無数の楽器がありますが、実際に間近で見たり、演奏したりする機会はそう多くありません。付属音楽院ではあまり触れる機会のない楽器を1つずつ取り上げて、楽器の解説、実際の演奏をお聴きいただくだけでなく、ご自身で触れて、音を出していただきます。

第1回の今回はパイプオルガンを取り上げます。オーケストラに比肩する壮大な響きを体験してみませんか
※定員になり次第受け付けを終了させていただきます。

個人レッスンは随時受付中

音楽院の個人レッスンは、4歳以上ならいつからでも始めていただけます。楽器やジャンル、レッスンの目的やレベルなど幅広く対応が可能です。「音楽」を習いたい方はぜひご相談ください。

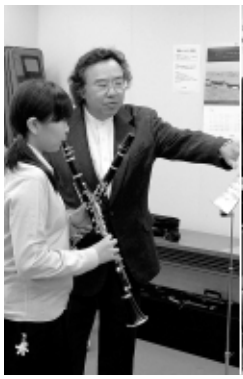
◇　◇　◇

パンフレットのご請求、お申し込みは
大阪音楽大学付属音楽院
〒561-8555豊中市庄内幸町1-1-8
TEL 06-6334-2909　FAX 06-6334-2675
URL http://ongakuin.jp
E-mail ongakuin-support@daion.ac.jp
窓口・電話受付時間　月～土:10時～17時
日曜・祝日はお休みです。

大阪・高松・広島で出張レッスン
「親切な指導 来てよかった」
学校説明会とミニコンサートも

大阪音楽大学・同短期大学部の教員による出張レッスン&学校説明会は5月31日のカワイ難波店を始めとして、6月7日のカワイ高松センター、同14日のカワイミュージック広島と、3会場で催されました。

難波会場では、ピアノ7人、声楽5人、クラリネットとユーフォニウム各1人の計14人の受講生が訪れ、芹澤佳司（ピアノ）、田中由也（声楽）、本田耕一（クラリネット）、木村寛仁（ユーフォニウム）の4教員から指導を受けました。また、午後1時半から学校説明会があり、アドミッション・センター長の田中教員が参加した22人に大学案内や進学ガイドブックを手に取り、授業の内容や奨学金制度、入試などについて話しました。



高松会場では徳島、愛媛、高知から駆けつけた8人が荒田祐子（声楽）、八田惇（ピアノ）、赤松二郎（サクソフォーン）、木村の4教員から指導を受けました。

広島会場では9人が田中、油井美加子（ピアノ）、長山慶子（フルート）の3教員のレッスンを受け、26人が説明会に参加しました。午後2時からミニコンサートがあり、木村教員を含めた4教員が声楽、ピアノ、フルート、ユーフォニウムを演奏しました。

各会場の受講生たちは「熱心に指導してもらい、本当に来てよかった」と感想を述べていました。

はびきの市民大学・聴講記 ⑤
西洋音楽史（講師・白石知雄）
2つのオルフェオ、音楽美の発見

イタリアの歴史学者・ジローラモ・メイが「古代ギリシャの演劇では、台詞が節をつけて歌われていた」という仮説を発表しました。1590年ごろのことです。

その後の検証で「歌ったというのは言い過ぎ。台詞に独特の節回しがあった」というのが定説になっていますが、この「誤解」が逆に注目を集め、歴史が動くきっかけをつくりました。最初に注目したのはミケランジェロなど芸術家のパトロンだったバルディ伯爵。「これからは観客に台詞を語りかけるような歌を目指すべきではないか」と呼びかけたのです。

そこで出来上がったのがギリシャ神話を題材にした音楽劇「エウリディーチェ」。1600年10月に初演されました。史上最初のオペラといわれています。

オペラ誕生”誤解“がきっかけ

7年後の1607年には北イタリアのある領主が作曲家・モンテヴェルディ（1567―1643年）に「オルフェオ」という音楽劇を作らせ謝肉祭で初演しています。感情や気持ちを言葉によって伝える、言葉そのものが主役になるような演出になっていました。音楽が感情を持ったドラマチックなこの作品は、今も上演されています。

モンテヴェルディの「オルフェオ」から約150年後の1762年、モーツァルトの少し前、ハイドンと同じ時代に、もう一つの「オルフェオ」が登場します。クリストフ・ヴィリバルト・グルック（1714―87年）が作曲した「オルフェオとエウリディーチェ」がそれです。語りによって芝居を進めるスタイルはグルックの作品にも踏襲されていました。

「誤解」をきっかけに作られた音楽劇は最初、貴族の娯楽として城の中で上演されていましたが、やがて各貴族が張り合うように作曲家を雇い、専用の劇場まで造ってヨーロッパ中で上演されるようになります。♪

平成21年度「はびきの市民大学後期講座」が10月から始まります。計12回で、テーマは「戦後関西音楽小史～作曲家、大栗裕を中心に」。白石知雄・大阪音楽大学講師らが担当します。詳細は、はびきの市民大学（072・950・5503）へ。

大阪音楽セミナー2009

“古今東西音楽考”《その24》

大阪音楽セミナー2009「古今東西音楽考」（本学主催、大阪府共催）は6月10日から26日まで　の間に計6回、さいかくホール（大阪府新別館北側1階）で開催されました。概要を紹介します。

スーパー管楽器 “サクソフォーン”の魅力

第1日　赤松二郎教授

サクソフォーンは何時・何処で・誰が・何のために発明したのか、などについて講義。森宏教授（ピアノ）をはじめ、教え子の奥山由布子（大3・アルトサックス）、土井沙織（同・テナーサックス）、外山舞（短2・バリトンサックス）の3人とJ・S・バッハの「G線上のアリア」などを演奏しました。

ベルギー人のアドルフ・サックスが1840年ごろに発明。パリで製作したことから、今でもフランスの楽器とされています。吹奏楽で使用され、広まりました。

しかし、オーケストラで固定の席を持てなかったのは、音が木管と金管楽器の中間で、個性がないとされたためです。一方、1920年代以降、ジャズの世界では高い評価を得て広く使用されました。

華麗なる メンデルスゾーンの世界!

第3日　藤井快哉講師

絵がとても上手で繊細な風景画を描いたメンデルスゾーン。作曲家としても「音楽の絵描き」と呼ばれるほど、描写的な音楽を書きました。たとえばピアノ曲「無言歌」や劇付随音楽「真夏の夜の夢」。今年生誕200年のメンデルスゾーンは、少年時代から英才教育を受け、自分のオーケストラを持てるほど恵まれた環境を生かし、当時埋もれていたバッハの「マタイ受難曲」やシューベルトの交響曲を復活演奏。人々にすばらしさを伝えました。藤井講師は叙情的な「無言歌」や華やかな「結婚行進曲」をピアノ独奏し、オペラハウス管弦楽団のコンサートミストレス赤松由夏さん、チェロの山岸孝教さんとトリオで「ピアノ三重奏曲第一番」などを演奏しました。

こんなリコーダーが 聴きたかった

第2日　藤田　隆教授

楽器の管は大抵、先にいくほど広がっており「末広がり」。リコーダーはその逆で、管の内部は円錐形で「先細り」。愛らしい音の秘密は管の構造にあります。

18世紀中ごろになると強弱の激しい音楽が登場し、バロック時代が終わると、この楽器は姿を消しました。復活したのは20世紀初頭。いろんな曲がリコーダーのために書かれるようになり、学校では教材として使われてきました。

リコーダーの村上珠美さん、ピアノの黒木俊美さんが演奏のお手伝い。J・S・バッハの「ガボット」、子どもたちの練習曲、B・ボンサーの「ラッシュアワー」、2本の楽器を使って演奏するP・ローズの「これと　あれ」など初期バロックから現代までの12曲を披露しました。

歌曲のロマン～ドイツ歌曲と日本歌曲を比べてみれば～

第4日　草野道広教授

ドイツ歌曲はシューベルトやシューマンが活躍した19世紀初頭に黄金時代が始まりました。一方、日本では今から約100年前に山田耕筰や信時潔らによってその扉が開かれ、やがて日本のロマン派時代とも思われる時代を迎えます。

「自然」「歓び」「人生」など7つのテーマに分類し、叙情的な日本歌曲とドイツ歌曲の違いを歌と解説で綴ります。「回想」の項では山田耕筰「この道」とヴォルフ「郷愁」を紹介。共に故郷の情景を歌っていますが、ドイツ人は明朗に、日本人は感傷的に思いを馳せるところに違いを見せます。

堅田京子さんのピアノ伴奏でソプラノの掛戸有美さん、加藤かおりさん、山本企佐子さんがロマンに満ちた19曲を実演しました。

ポピュラーピアノの魅力

第5日　井本英子講師

梅雨のまっただなか、軽快なタップダンスが目に浮かぶ「雨に唄えば」、メロディーが切ない「シェルブールの雨傘」、「あめふりくまの子」から八代亜紀の「雨の慕情」まで、雨にちなんだ曲を12曲。ポピュラーピアノの井本講師が、とびきりおしゃれなアレンジで演奏しました。「雨」の次は「夏」。「今回特別にお招きした〝古今東西合唱団〟のみなさん、どうぞ一緒に歌ってください」と井本講師がピアノを弾きながら客席に呼びかけると、受講者のみなさんは「夏の思い出」「浜辺の歌」などを楽しそうに口ずさみました。

最後はピアノで〝和〟の世界。近松門左衛門の心中物を描いた井本講師作曲の組曲「恋のみちゆき」がしっとりと演奏されました。

知っているようで知らない『尺八』

第6日　演奏　田嶋直士講師
お話　井口淳子教授

まず、井口教授のお話。「尺八は中国で誕生し唐代（奈良時代）に日本へ伝来。現代の中国楽器『洞簫』（トンシャウ）は、明るく澄んだ音色なので、日本の尺八は独自の美意識によって変容を遂げたと思われます。禅宗の一派『普化宗』の虚無僧が修業の際、法器として用いたのが、伝承の基盤となりました。尺八はシンプルな構造ですが、音はバラエティに富みます。尺八本曲は琴古流の始祖、黒沢琴古（1710―70）が全国行脚し、収集した二十数曲が基本曲です」

田嶋講師はバッハ音楽祭で「旅X」を世界初演し帰国したばかり。「尺八を楽器と考えたり、演奏しようとしたりするのは間違い」と言い、疲れも見せず、「虚空」や「産安」など3曲を演奏しました。

21年度から本学学生の音楽仕事力開発・育成に
『音楽の仕事情報館』設置へ
学生支援機構採択

大阪音楽大学と同短期大学部が21年度から取り組む学生支援推進事業（学生支援プログラム）の「『音楽の仕事情報館』構築による学生の音楽仕事力育成と就職支援」が7月7日、独立行政法人日本学生支援機構から「採択」との連絡がありました。23年度までの3年間に「音楽の仕事情報館」を設置し、学生自身が音楽で生きていくための音楽仕事力の開発・育成支援を目指します。

この事業は各大学・短期大学、高等専門学校から申請された各大学等における学士力の確保や教育の取り組みの中から達成目標を明確にした効果が見込まれる取り組みを選定し、社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことで、高等教育の質保証の強化に資することが目的。テーマはA、Bの二つあり、本学はBの学生支援推進プログラムが採択になりました。

本学が取り組む具体的内容は、音楽関連分野の情報を網羅し、卒業生から情報を収集するために「音楽仕事コーディネーター」を設置し、「音楽の仕事情報館HP」を開設します。定期的に「音楽の仕事・情報交流会」「音楽仕事情報OFF会」を開催し、企業等で活躍している卒業生と学生が交流できる場を作り、持続的な活動支援を行います。

この取り組みの効果を最大限にするため、「音楽仕事コーディネーター」を窓口に卒業生とのつながりを再強化。従来以上に音楽関連業界からの協力を得る体制を築き、学生に音楽の仕事のあり方を模索できる環境整備を推進します。

この取り組みによる「音楽仕事コーディネーター」の専門的能力の開発と、社会で音楽を活用する能力（音楽仕事力）の育成によって、社会状況の変化に即応し高度なアート・マネジメント能力を持つ人材の育成・就職支援へと発展的に継続させていきます。また、音楽関連業界、地域社会との連携をさらに強化し、「音楽の仕事情報館」を音楽による社会創造活動の拠点へと発展させます。

バッハ音楽祭に田嶋講師

尺八で「旅X」―野ざらし―を世界初演

尺八演奏家として国際的に活躍している田嶋直士講師は6月14日、ドイツ・聖トーマス教会でのライプツィヒ・バッハ音楽祭に出演。細川俊夫さん作曲の「尺八とアンサンブルのための『旅X』―野ざらし―」を世界初演しました。105年の歴史を誇る同音楽祭で、オーケストラと日本の伝統音楽「尺八」の協演。東西音楽のコラボレーションに聴衆はスタンディングオベーションで歓迎しました。

同音楽祭から作品を委嘱された細川さんは日本とドイツを拠点に活躍し、現代音楽の国際的な舞台で最も注目されている作曲家、指揮者。今回の作品について、細川さんは「バッハの生きた時代に近い、しかし、バッハの音楽から最も遠い音楽性を持っている日本の16、17世紀に生まれた尺八音楽を考えた。現代の優れた尺八奏者、田嶋氏との出会いがこの作品を生み出すきっかけとなった」と説明しています。

バッハの墓の前で。左が細川俊夫さん

同音楽祭は6月11日から21日まで開催。14日は現代音楽で、期間中メーンの一つ。しかも、クラシックの殿堂である同教会で日本の伝統楽器が登場するのは史上初。午後9時から始まった演奏会で田嶋講師は最初にケルンのオーケストラをバックに「旅X」、続いてJ・S・バッハの「ブランデンブルク協奏曲第5番ニ長調 BWV・1050」と「虚空―尺八ソロ」。そして4曲目を再び「旅X」としたのは「バッハの世界を聴き、再度の『旅X』に印象がどう変わるのか、変わらないのか」がねらいでした。田嶋講師は「虚空では精神性の高さ、エネルギーの強さに鋭く反応、2度目の『旅X』ではオーケストラや指揮者、聴衆が芭蕉の俳句が持つ寂寥感や「野ざらし」の壮絶な世界など日本文化の奥深さを理解してくれたのでは」と話していました。

新型インフルエンザ

6日間休校

大阪音楽大学の危機管理委員会は5月17日に新型インフルエンザ対策本部を設置し、18日から23日まで休校の措置を取りました。本学では幸い感染した人はなく、授業は25日から再開されましたが、この間、オペラハウスや音楽博物館、幼稚園などの付属施設が閉鎖になり、演奏会や特別講義などにも影響が出ました。

休校に伴う補講について大学側は特に補講日を設けず、今後の授業の中で個別に対応することに決めました。

また、今回のインフルエンザ騒動では、ミレニアムホールで予定していたオペラ物知り講座をはじめ畑中良輔特別講座「日本歌曲100年の歩みを辿って」、オペラハウス管弦楽団の第43回定期演奏会などが相次いで中止になりましたが、検討の結果、次のように延期が決まりました。

授業や特別講座に影響

延期が決定した講座

講座・演奏会名	延期日
●オペラ物知り講座「この人でこのオペラ！」第1回高嶋優羽さんの場合	2月22日
●畑中良輔特別講座 第5回「戦中より戦後へ」	3月　5日
●豊中子ども音楽祭	10月　4日

5月23日に予定していたオペラハウス管弦楽団の第43回定期演奏会は現在、検討中

オペラハウスで消防訓練

開館20周年を迎えたザ・カレッジ・オペラハウスで6月18日、自主消防訓練が行われました。2階控室から出火した、という想定で、職員23人が参加。消防署への通報、避難誘導、大型消火器の放水訓練などをしました。

圧巻は高さ12㍍もある3階からの避難訓練。男女8人が挑戦しました。

お寺でコンサート 6年

河口 結子さん
（85年大卒・作曲）

「編曲の腕をいかし、お年寄りや子どもたちのお役に立ちたい」。神戸市内などで音楽教室を開いている河口結子さん（85年大卒・作曲）たちがそんな思いで始めた「お寺のコンサート」。会場は河口さんの嫁ぎ先、兵庫県丹波市氷上町の無量寺。6年目を迎えた今年も本堂から鍵盤ハーモニカの楽しい音色が聞こえてきました。「あんたたちの来るのを楽しみにしておったんよ」とお年寄りたち。今年は神戸をはじめ福井からやって来た人もあり、コンサートの輪は確実に広がっています。

河口さんは97年からシャンソン歌手や地元のバルーン・アーティスト、絵本作家たちをゲストに招いてコンサートを開いてきました。04年には丹波市在住の音楽療法士・梅谷浩子さんと鍵盤ハーモニカのユニット「ザ・ピアンカ」を結成。

音楽は私の親友

河口結子さん（右）と梅谷浩子さん

「お寺のコンサート」が産声を上げました。

今度いつやるのん

6回目の今年は4月5日に開かれました。テーマは「みんなの里に春が来た」。「汽車ぽっぽ」「線路は続くよ」などの汽車メドレーで始まり、ピンクレディーの「サウスポー」、昔なつかしい遊び歌、サクラメドレーと続きます。アニメ「ひみつのアッコちゃん」はジャズ風にアレンジするなど、この日の曲はいずれも河口さんが鍵盤ハーモニカ向けに編曲しました。

今年は丹波市内のお年寄りも招待し、約60人が本堂を埋めました。2人の掛け合いが始まると、皆さん曲に合わせリズムを取り、口ずさみます。童謡「花いちもんめ」では河口さんがソロ、梅谷さんがマリをつくなど、随所に楽しいパフォーマンスも。「なつかしい曲を聴いて、元気をいただきました。今度はいつやるのん」。お年寄りたちは年に一度のコンサートを楽しみにしているようです。

学校にも出前演奏

河口さんと梅谷さんは昨年、阪神淡路大震災復興祈念「神戸・元町ミュージックウイーク」に出演、「ザ・ピアンカ」の名は県内でも広く知られるようになり、保育園、小学校、病院のロビーコンサートなど、演奏依頼は年々増えているそうです。

週末は地元、平日は神戸で音楽活動をする河口さん。「私にとって音楽は、ことあるごとに支えてくれた親友。これからは、さらに活動の場を広げ、私自身の音楽を多くの人に提供したいと思っています」

みんなの鍵盤ハーモニカ デュオ

河口結子さん

オクト出版社　1680円

幼稚園や小学校でお世話になった鍵盤ハーモニカ。卒業後は思い出の引き出しにしまい込んだまま、ほとんどの人はその存在すら忘れ去っています。ピアノ教室を開いている著者がそんな楽器に陽の目を当てようとしたのが、この編曲集「みんなの鍵盤ハーモニカデュオ」。

6年程前から音楽療法の伴奏者としても活動している河口さんは、童謡や唱歌を鍵盤ハーモニカ向けにアレンジし、伴奏楽器を伴わない、デュオ演奏をプログラムに取り入れました。これが評判を呼び、小学校などからデュオ演奏会の依頼が急増。このことが出版社の耳に入り、編曲

遊び心いっぱい

作品集が出来上がりました。

「しゃぼん玉」「犬のおまわりさん」など誰もが一度は口ずさんだことのある童謡から、「サウスポー」「あの時 君は若かった」のような懐かしいポップスまで11曲を紹介しています。「ずいずいずっころばし」「犬のおまわりさん」ではネズミや犬の指輪をはめて演奏、鍵盤の上を動物たちが走り回るなど、子どもから大人までが楽しめるように、遊び心いっぱいの仕掛けがあちこちに見られます。

学校の教具としてのイメージが強い鍵盤ハーモニカも、河口さんの手にかかれば立派な主役。「世代を超えて日常的に趣味の楽器として市民権を得られる日が来ることを期待しています」。

生川さん、新人奨励賞

第46回なにわ芸術祭

第46回なにわ芸術祭「新進音楽家競演会」（産経新聞社など主催）が5月7日に大阪・サンケイホールで行われ、ピアノ・管弦打楽器の部に出演した生川真弓さん（09年大専修・ピアノ）が新人奨励賞を受賞しました。

©産経新聞社

生川さんが弾いたのはプロコフィエフの「ピアノ・ソナタ6番」（戦争ソナタ）の終楽章。この曲はソナタ全9曲の中で最も「重い」曲とされていますが、それを見事に克服し、高い評価を受けました。

コンクール

敬称略

清水由佳子

辻英子

呑海文香

■第11回「万里の長城杯」国際音楽コンクール弦楽器部門一般Aの部 1位、中国駐大阪総領事賞 清水由佳子（03年院修・ヴァイオリン）、3位 辻英子（02年大卒・ヴァイオリン）▽**ピアノ部門大学の部 2位** 呑海文香（大4・ピアノ）＝3月20日、ピッコロシアター。中国音楽理事会主催

「FUNK FANTASY」

竹中 睦さん

（付属音楽院講師）

ジャズピアノトリオ「trio of bamboo」のピアニスト&コンポーザーとして昨年、鮮烈なデビューを飾った竹中睦さんがソロ・プロジェクト活動を開始しました。

「FUNK FANTASY」はその記念すべき第一作。「REDZONE」「COOLPASSION」「LATINO EMOTION」などオリジナル8曲を収録しています。

「睦ワールド」天こ盛り

「今回のアルバムは、以前から書きとめていた楽曲を作曲家の目線から、トリオとは違ったサウンドでクリエイトしています」と竹中さん。ジャズ、ロック、ポップス、すべてを含めたボーダレスな新しいジャンルに挑む意欲作。アルバムの前半は激しく疾走するグルーヴ感のある曲、後半はラブソング的なバラードもあり、全体を通してストーリーが感じられる作品に仕上げています。「アレンジについてもアッと驚くような仕掛けがあります。新しい感覚で聴いていただければいいかな」。独自のメロディ・ラインと色彩感あふれるサウンドが天こ盛り。「睦ワールド」が楽しめる一作だ。

発売はダイキ・サウンド。2000円。

竹中さんのホームページは

http://takenakamutsumi.com/

畠山歩美さんの ハノイ奮闘記

子どもの笑顔に支えられ

今年3月の卒業式で優秀賞を受賞した声楽の畠山歩美さん。昨年10月、海外子女教育振興財団が実施した日本人学校の教員募集に応募し、音楽教師として採用されました。赴任先はベトナムのハノイ日本人学校。小中一貫校で、児童・生徒は合わせて247人だそうです。その畠山さんから広報誌編集室にお便りが届きました。「ハノイ奮闘記」第一弾です。

♪

シンチャオ（こんにちは）。畠山歩美です。皆さん、ご存知かもしれませんが、ベトナムは本当に空気の悪い国。最初は腹式呼吸どころか普段、呼吸することさえままならない状態でした。それに日中、40度を越す暑さ。音楽室にある楽器たちも悲鳴を上げています。

日本とはまるで違うこの環境。免疫がない私にとって、この地は何とむごいところなんだろう。気がつくと、何事においてもマイナスに考えてしまう自分がいました。

滅入る私を奮い立たせてくれたのは、かわいい子どもたちです。笑顔で話し掛けてくれたり歌を歌ってくれたり。そんな姿を見ると、「この子らによい音楽を与えることができるのは私しかいないんだ」。そう思えたとき、物事を前向きに考えることができました。

音の狂ったピアノでもいいじゃない。今あるものを最大限に生かし、その中で自分自身を目いっぱい表現することができれば。音楽の底力を、今ハノイで試されているような気がします。

♪

畠山さんは5月9日に一時帰国し、いずみホールで行われた関西新人演奏会に出演しました。体調不良で、一時は出演を辞退することも考えたそうですが、子どもたちの笑顔に後押しされ、演奏会は無事成功したそうです。

♪

広報誌編集室では畠山さんの「ハノイ奮闘記」を随時掲載する予定でいます。ご期待ください。

《幸楽会》後援演奏会

深江亮太×清松優記子　Joint Concert
8月7日（金）19時　イーグレひめじアートホール
☎090-2193-9993　深江

平成21年度和泉市民熱中サポート事業
モーツァルトがやってきた!
8月8日（土）14時　弥生の風ホール
秋田理恵　紀岡奈都子　石毛明生　大杉秘
☎080-5590-5704　森河

“ひとときの音楽”イギリス・バロックの花
8月14日（金）18時30分　クレオ大阪中央
笹山晶子 村井優美 原田潤一 高本一郎 頼田麗
☎090-6067-4507　ささやま

西洋古楽器による小演奏会　Vol.56
8月17日（月）19時　ギャラリー草片 要予約
松原優子　大西万喜　吉竹百合子
☎0745-55-2478　そう楽舎

Male Box Concert〜バリトンはいかが?〜
8月20日（木）19時　ザ・フェニックスホール
川下登 小玉晃 雁木悟 青木耕平 ほか
☎0798-35-1152　青木

ソプラノ坂口さやか〜セレナーデと海のうた〜
8月22日（土）15時　世良美術館
☎06-6135-0503　大阪アーティスト協会

はりま夢舞台〜若き演奏家のスーパーコンチェルト〜
8月23日（日）18時　兵庫県立芸術文化センター
中村友美　武田麻衣子　山下綾美　岩美玲奈
☎079-254-4202　岩見

楽楽クラシカルのおとサプリコンサート
8月25日（火）14時　19時　2回公演
箕面メイプルホール　上野裕子 横智花 五十嵐香美
☎090-5012-7728　上野

ビストロ疋田　ユニセフチャリティーコンサート
8月29日（土）19時30分 ザ・リッツカールトン大阪
阪上和夫 並河寿美 中西智子 疋田綾子 關口康祐
☎06-6858-0909　疋田

猿渡裕介Saxophone Recital
9月12日（土）18時　神戸市産業振興センター
☎078-230-2607　高見楽器工房

Simple Gifts　私のお気に入り!
9月12日（土）19時　兵庫県立芸術文化センター
計盛恵子　伊藤麻希子　伊野波幸　ほか
☎06-7177-1792　瀬戸口

有居恵・小林由佳・中田百合子ジョイント・コンサート
「音の職人たち〜その祈りと軌跡〜」
9月18日（金）19時　西宮市プレラホール
☎0798-64-9485　西宮市プレラホール

音の泉　ミ・ベモルポピュラーコンサート
9月19日（土）18時30分 クレオ大阪中央ホール
9月21日（月・祝）14時 高知県立美術館ホール
9月23日（水・祝）14時 栗東芸術文化会館
☎090-1240-9907　ミ・ベモル事務局

ピアノトリオのひととき Vol.7
9月20日（日）15時　豊中市立ローズ文化ホール
正田真紀子 松田淳一 後藤敏子 植田延江
☎072-761-1253　正田

ドイツからの便り　松本恵ピアノリサイタル
9月21日（月・祝）14時　茨木市クリエイトセンター
☎072-636-1022　松本恵を聴く会

7人のピアニストが贈る《音の花束》
9月23日（水・祝）14時　うはらホール
井筒良子　小上多衣子　古閑裕子　ほか
☎06-6135-0503　大阪アーティスト協会

アンサンブル花音　遥かなる庭より
9月23日（水・祝）14時　兵庫県立芸術文化センター
山田暢 松平季子 横山陽子 豊永佳子
☎078-871-5052　アンサンブル花音

岩城拓也テノールリサイタル
9月27日（日）18時　ザ・フェニックスホール
☎075-952-0346　加瀬

川西市民創作ミュージカル　川西の金太郎
10月17日（土）17時 18日（日）14時　川西市文化会館
井村誠貴 熊谷美紀 油井宏隆 東平開 大岡紋
☎072-740-1106　川西市役所文化・国際交流課

Aurora 京都公演Vol.1 モーツァルトを歌う
10月25日（日）14時　青山記念音楽館バロックザール
結城麻子　和田陽恵　香川紀恵
☎075-393-0011　青山記念音楽館

MUSEUM BOX

西岡信雄コレクション特別展　開催
「フィールドワークの足跡」
―楽器が自然と人間を語る―

“世界の楽器を知り尽くす楽器博士”こと西岡信雄名誉教授が、30年間の歳月をかけ、約40カ国で収集したコレクションの内、音楽博物館に寄贈された楽器1450点、楽器を持った人形1600点が一堂に展示されます。いずれも今では手に入らない珍しい楽器、演奏法や合奏の編成を研究する重要な手がかりとなる楽器を持った人形など、音楽と人類のかかわりを伝える貴重な資料ばかりです。ぜひ音楽博物館でご覧ください。

会期：10月1日（木）〜12月28日（月）
会場：音楽博物館　展示室内　入場無料
開館時間：10時〜16時　休館日：日・祝祭日、創立記念日（10月15日）

特別展記念講演　**「楽器からのメッセージ」**
10月24日（土）14時　音楽博物館　入場料：1000円　申込制
お話　西岡信雄名誉教授

ガムラン・ワークショップ2009 受講者募集

音楽博物館では、今年もインドネシア・バリ島の伝統音楽「ガムラン」のワークショップを開催いたします。ガムランは金属製打楽器を中心としたアンサンブル。西洋音楽にはない独特の響きを体験してみませんか。

9月12日（土）10時〜15時　講師：小林江美（本学演奏員、ガムラン奏者）
会場：大阪音楽大学K号館　音楽博物館展示室
対象：一般および本学在学生・本学教職員
参加費：一般3000円　（本学在学生・本学教職員は無料です。）
使用楽器：音楽博物館所蔵ガムラン
〈申し込み・問い合わせ〉大阪音楽大学音楽博物館　〒561-0841　豊中市名神口1-4-1
☎06-6868-1509　FAX06-6865-1221

大阪音楽大学後援演奏会

バリアフリーコンサート〜25回記念〜
9月13日（日）15時　茨木市クリエイトセンター
小西潤子　松田淳一　後藤敏子　石原光世
☎072-622-9928　バリアフリーコンサート企画

松永美穂・冬廣万美子ピアノデュオリサイタル
9月20日（日）14時
京都青山音楽記念館　バロックザール
☎075-393-0011　バロックザール

La La Vita Vocal Concert Vol.Ⅸ Buffaの世界
9月20日（日）15時　イシハラホール
今村悦子　岡崎房恵　喜多真美　菊池祐子
花篤孝子　高木未知子　田邉織恵
中津江美　橋本由美　福井景子
藤村江季奈　宮本佳代子　森本靖子
伊藤誓　諏訪部匡司　西尾岳史
☎072-673-4063　福島

スーパーリコーダーカルテット リサイタル Vol.5
9月22日（火・祝）17時　ザ・フェニックスホール
9月26日（土）　東京文化会館小ホール
10月10日（土）　西宮・甲東ホール
藤田隆　秋山滋　北村雅彦　松浦孝成
☎06-6135-0503　大阪アーティスト協会

ヘンデル作曲オペラ「オルランド」
9月26日（土）15時　伊丹アイフォニックホール
福島紀子　老田裕子　永木るり子
田中希美　森孝裕
☎0797-71-0832　VOC事務局　井上

松田昌恵ソプラノ・リサイタル〜日本歌曲のタベ〜
9月29日（火）19時15分
横浜みなとみらいホール　小ホール
ソプラノ　松田昌恵　ピアノ　小坂圭太
☎03-3796-1818　東京二期会　山崎

北野徹パーカッショングループ大阪による
打楽器オーケストラ演奏会
10月16日（金）19時　いずみホール
☎06-6135-0503　大阪アーティスト協会

末岡智子ピアノリサイタル
10月16日（金）19時　イシハラホール
☎06-6135-0503　大阪アーティスト協会

増井一友ギターリサイタル「内なる想い」
11月21日（日）17時　近江楽堂
11月28日（日）17時　ザ・フェニックスホール
☎06-6135-0503　大阪アーティスト協会

若槻文子名誉教授が死去

若槻文子名誉教授が5月28日に死去されました。90歳でした。31日、京都市内で告別式が営まれました。

同名誉教授は57年4月に短期大学講師になり、助教授を経て69年に教授。87年に定年退職しました。

幸楽会

岡山県支部（松本義弘支部長）

若手演奏家による「第四回ハートフル・チャリティー・コンサート」が5月17日、ベルフォーレ津山で開かれ、収益金の一部が日本ユニセフ協会に寄付されました。

幸楽会事務室からお知らせ

◆8月の開室日　8月3、10、24、31日　いずれも月曜日です。

「大学案内2009」ができました

大阪音楽大学の「大学案内　2009」ができました。本学の魅力をコンパクトに紹介してあり、受験生には必携のガイドブックです。

大学、同音楽専攻科、大学院、短期大学部、同専攻科の授業科目を網羅。社会の第一線で活躍する卒業生たちをはじめ、在学生からのメッセージも多数掲載し、学生の立場から大学を紹介しています。

大学の魅力紹介

受験生には必携

また、在学生に対する進路支援やサポート体制なども細かく掲載。ザ・カレッジ・オペラハウスや音楽博物館などの施設も幅広く紹介しています。A4判、オールカラーで58ページ。無料。

「大学案内」をご希望の方は、はがきに郵便番号、住所、名前を明記の上、大阪音楽大学広報誌編集室へお申し込みください。

ミレニアムホール特別講座

弦楽四重奏曲の元祖・ハイドン

今年はハイドンの没後200年。70曲を超える弦楽四重奏曲を作曲したハイドンは「弦楽四重奏曲の元祖」と呼ばれています。「弦楽四重奏というスタイルは音楽の原点」という日下部さん。「クヮルテットには喧嘩型と和気あいあい型がありますが、あなたがたはどちら？」と、この日のクヮルテットをつとめるザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団のコンサートミストレス赤松由夏さん、ヴァイオリンの景山映子さん、ヴィオラの上野亮子さん、チェロの山岸孝教さんに尋ねると、会場は興味しんしん。作品の標題にまつわる愉快なエピソードを紹介しながら、ハイドンの弦楽四重奏曲から第67番「ひばり」、第78番「日の出」、第77番「皇帝」などが演奏されました。

講師　日下部吉彦　6月6日　ミレニアムホール

音楽の原点に迫る

6月27日　ミレニアムホール

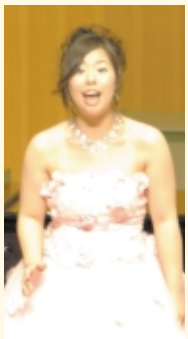
若い芽のコンサート　Vol.16

音楽万華鏡～バロックから近代まで～

時空越え色鮮やかに

バロックから近代までの作品14曲が万華鏡のように、色鮮やかによみがえりました。

出演は4組7人。リコーダーの織田優子さんは久保愛さんのチェンバロで、G・F・ヘンデルの「ソナタ　変ロ長調」など3曲。ソプラノの髙田直実さんは近代フランス音楽の巨匠G・フォーレの「蝶と花　作品1―1」、C・ドビュッシー「星の夜」などを演奏しました。フランス歌曲の美しさ、二人の作曲家の色彩感を情景豊かに歌い上げました。



内藤亜樹子さんと金室ひとみさんはS・ラフマニノフの「二台のピアノのための組曲」から「舟歌」、「ロマンス」など。サクソフォーンの西田歩美さんは、大バッハの次男、C・P・E・バッハの「無伴奏ソナタ」とB・ジョラスの「エピソード第4番」。バッハのソナタはフルートのための曲ですが、西田さんはソプラノ・サクソフォーンで挑戦しました。

次号発行予定10月20日